

初台リハビリテーション病院

第3回 区西南部地域リハ支援センター講演会 開催

2月18日 中目黒GTプラザホールにて第3回 区西南部地域リハ支援センターの講演会が行われました。講師には国際医療福祉大学大学院教授 大熊由紀子先生を迎え「老いても病んでも家族の愛を壊さずに」をテーマに講演いただき、参加者からは「大切にしたい思いを再確認した」等たくさんのご意見を頂戴しました。またシンポジウムでは区西南部地域の医療従事者5名を迎え摂食嚥下の現状と課題について活発な意見交換が行われました。



船橋市立リハビリテーション病院

3月20日 市民公開講座 開催しました

毎年行なっている市民公開講座を本年度も実施しました。今回は「加齢に伴う排泄を考える～いきいきと暮らすために日常で取り組むこと」と題して開催しました。具体的な例をもとにイラストを利用したスライドがわかりやすいと参加者の皆さまからご好評頂きました。また体操の紹介も行い予防の観点からも講義をさせて頂きました。今後も地域の皆さまのお役に立てるよう活動をしていきたいと思っておりますのでご参加よろしくお願ひ致します。



船橋市リハビリテーションセンター

第15回船橋市地域リハビリテーション大会 開催

平成29年2月4日(土)船橋市宮本公民館にて行われ、149名の方が参加されました。特別講演では浜松市リハビリテーション病院の病院長 藤島一郎様にお越しいただき、「浜松市リハビリテーション病院における地域リハと嚥下障害の取り組みおよび臨床倫理」についてご講演をいただきました。参加者からは「自分自身の臨床を見つめ直す事ができた」「嚥下についての講演がとてもためになった」との声が多数寄せられ、大盛況でした。



在宅総合ケアセンター元浅草

新しいマシンが導入されました

たいとう診療所リハビリ室に新しい機器が導入されました。自転車エルゴメータ・リカンベント・レッグプレス、アブドメン / バック・アダクション / アブダクション・チェストプレスの合計7台が新しい機器になりました。それに合わせてリハビリ室のレイアウトを変更し歩行スペースが広くなりました。まだ利用者さまが、操作方法に戸惑うこともあります。新年度を迎え心機一転し利用者さまも気持ち良くトレーニングをしていただけたらと思います。



在宅総合ケアセンター成城

3月18日「砦地域近所フォーラム2017」に参加

このイベントは医療や介護に留まらず、子育て支援や障がい者支援などを行う様々な事業者・団体がお互いにその活動内容を理解し合うことにより繋がりを深め、地域の支えあう力を高めていくことを目的としています。当センターからも、事前の準備、当日の発表やグループワークへの参加などいろいろと関わらせて頂きました。今後も、地域の活動に積極的に参加して、地域の発展に貢献していきたいと思っております。



新入職員を迎えて



4月1日、新入職員147名を迎え、平成29年度輝生会入社式が執り行われました。春にしては冷たい空気の朝、開会時には緊張した様子だった新入職員も式が進むにつれて、すこしずつ緊張が解けていったようです。セコム医療システム株式会社布施会長のご講演や、石川理事長の講演は輝生会の理念や、医療の歴史から、輝生会の歴史、リハビリテーションの意義や、輝生会のミッションなどが伝わり新入職員にとって興味深い内容だったことでしょう。また、新入職員代表の寺澤寛人ソーシャルワーカーは、社会人としての決意が伝わる清々しい言葉で新入職員全員の意欲を代表した挨拶をしてくださいました。さらに、同日夜には、懇親会が盛大に開催され、交流が一気に深まりました。さあ、新しい仲間を加えて、平成29年度のスタートです。職員一同、ますます力を合わせて進んで行きたいと思ひます。

教育研修局部長からのお祝いエール



新入職の皆さんは心地よい高揚感をもって毎日を過ごしておられると思ひます。ふと、30年程前の私自身はどうだったか。思い出そうと努力しても、なかなか思い出せません。そのような中でも鮮明に覚えていることは入社初期に出会った患者さまのことです。こんなにつらそうだった、おぼつかないけど、こんなアプローチを行ってみた、やさしい声をかけてもらった…真摯に取り組んだ時間が後で財産となります。この時期、私も初心を忘れず、よい緊張感で臨みたいと思ひます。 宮田昌司



新入職員入職の時期は現職員も襟を正す良い機会です。輝生会には、理念の一番に掲げている「人間の尊厳の保持」の実現のために接遇ルールブック「わたしたちの約束」があり、接遇を大切にすることで患者さま・職員同士の尊厳を尊重する風土づくりに取り組んでいます。現職員はあらためて挨拶や身だしなみを徹底し、新入職員をお待ちしています。一緒に患者さまの再び輝く人生を支援しましょう。 取出涼子



入社おめでとうございます。不安や心配、楽しみなど様々な思いでいらっしやうと思ひます。私も15年間勤務した初台リハビリテーション病院から異動となり、今年度より輝生会本部 教育研修局配属になりました。みなさんと一緒に新たな気持ちでスタートです。

私たちは「On for all, All for one」を大切にしています。私は「1人はみんなのために、みんなはお互いの目標達成のために」と解釈しています。みんなで力を合わせて共に前に進みましょう。 熊木晴美



平成29年4月1日に147名を超える新入職員が我々輝生会に仲間入りしました。入社おめでとうございます。当法人は、質の高い医療サービスを提供できるよう教育研修に力を入れています。

特に卒後3年間はしっかりと学ぶ環境が整えられていると思ひますが、社会人になると学生時代とは違い自ら学ぶ姿勢が最も大事になります。自ら考え行動できるスタッフになれるよう我々も全面的に支援をしたいと思ひます。今後の活躍を期待しています。 池田吉隆

Short-term Reha 短時間通所リハビリテーション特集

文責：教育研修局 部長 宮田昌司 (理学療法士)

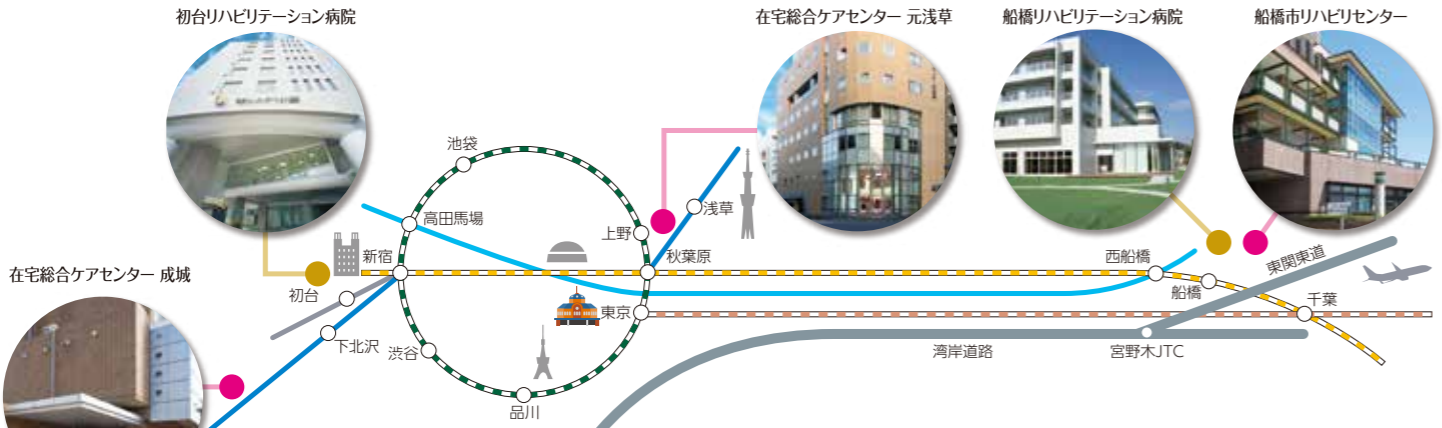
1 短時間通所リハビリテーション (以下通所リハ) とは

登録された医療機関に通って、生活に即した目標に沿って、リハビリテーションを基盤にした様々な身体活動を行っていただくサービスです。

当法人では、ご本人やご家族に希望を伺いながらリハビリを行っていただき、社会生活の中で必要な役割をあらためて見出したり、より充実した生活が送れるようにサポートさせていただきます。

2 輝生会における短時間通所リハの特徴

短時間通所リハは、医療保険でのリハビリから介護保険のリハビリにスムーズに移行できるように制度化されました。当法人の短時間通所リハの特徴は ①外来と同様に定期的に医師の関わりがあること ②状態に応じて理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の個別訓練を実施していること ③機能訓練に終始することなく利用者の生活状況を適宜把握し日常の活動や社会参加に向けたリハビリテーションを提供することです。



各拠点の通所リハ・マネジャーの声

【初台リハビリテーション病院】

初台リハビリテーション病院は外来リハビリ500名、通所リハビリ200名の方にご利用いただいています。

今後は、外来リハビリとそれぞれの長所・短所を明確にお示ししながら通所リハビリへ移行をしていただけるよう努力してまいります。

【船橋市立リハビリテーション病院】

いつでもご自身で行える自主トレーニングを提案し、自宅で行った内容を私たちが手造りした『輝きノート』に記載し自己管理に役立てていただいています。このように活動範囲拡大につながる目標を立て、目標達成およびセルフコンディショニングの獲得を目指しています。

【在宅総合ケアセンター成城】

10人一組でグループを形成し、集団活動と個別リハビリを織り交ぜた対応をしています。グループ制にすることで利用者同士の交流は深まりそのことで活動意欲の高まりや新しい社会参加が生まれています。

【在宅総合ケアセンター元浅草】

個別訓練だけでなく、実生活に即し、近所の体操教室やカラオケBOXの利用が出来るように同行訓練するなど利用者様のニーズに合わせたプログラムも提供しています。また、今春より集団による言語療法のプログラムも提供致します。

【船橋市リハビリセンター】

通常は個別訓練と自主トレを基本としたリハビリを行っています。昨年10月から火曜の午後に集団訓練を開始しました。3か月毎にテーマを決めて『歩こう会』『腰痛予防体操』を実施しました。利用者の皆さまに好評です！

3 ご利用いただけるサービス内容

- ・ご自宅から通所事業所までの送迎 (送迎範囲有、ご相談ください。)
- ・60~120分のリハビリテーションを提供
- ・療法士による個別のリハビリテーションを提供
- ・日常活動の活性化と社会参加に向けた多職種協働による働きかけ
- ・自身で体の調子を整える方法や自主トレ方法の助言と指導

4 サービス提供の流れ(例)

- ・体調管理 (血圧、脈拍、体温など)
- ・開始のあいさつ→当日の予定確認 (診察、個別リハビリ、自主トレ他)
- ・リハビリ
 - ①自主トレ (マシントレーニング) →②個別リハビリ
 - ③作業活動 (園芸など) →④自主トレ (マットでの体操) →小集団体操
- ・終わりの挨拶

5 ご利用までの流れ

- ① ご本人・ご家族・ケアマネジャーからのご利用相談を頂く
- ② ご利用にあたり、必要書類 (かかりつけ医からの診療情報提供書など) の準備をお願いします
- ③ ケアマネジャーによる担当者会議開催/通所スタッフが居宅訪問して状況把握
- ④ 当院医師の診察/通所リハビリの目標を確認する個別面談の実施 (ケアマネジャーや他サービスのスタッフも同席可能です。)
- ⑤ ご利用開始

※詳細は各拠点の通所リハビリ担当者までお問い合わせください。



初台リハビリテーション病院：2015年度クリニカルインディケーター公開のお知らせ

当院では、重症者にも対応できる医療・リハケア体制の整備、スタッフの量的および質的充実に向けた教育研修体制の構築、チームアプローチの徹底や情報共有の強化、急性期病院および地域医療・介護との連携推進、生活期リハビリテーションの充実等、様々な取り組みを組織的に整備・実践することで、回復期リハビリテーション病棟としての役割を強化して参りました。

しかし、これらの取り組みを実践する中で、実際に患者さまがどれくらい回復したのか等、客観的なアウトカム指標 (クリニカルインディケーター) を十分に提示することが出来ていませんでした。個々の評価はしっかりと行い、電子カルテに記録もしていたのに、そのデータを効率的に蓄積し、解析するシステムがなかったのが一因でした。

2015年に電子カルテを刷新し、スタッフ間および患者さまやご家族との情報共有機能・データベース機能を強化することで、患者さまからいただいた貴重な臨床データを確実に蓄積し、より詳細なクリニカルインディケーターを提示することが可能となりました。

このような経緯を経て、この度、“2015年度クリニカルインディケーター”の作成が可能となり、当院ホームページ【施設データ】内へ掲載させていただき運びとなりました。公開データは、PDF仕様となっており、閲覧のみならず印刷も可能です。皆さまに幅広くご活用いただけると幸いです。

当院にとっては、新たな取り組みであり、まだまだ拙劣な部分もあるかと思いますが、皆さまのご意見を拝聴しながら、今後もクリニカルインディケーターの情報公開に努めていきたいと思っております。

また、次年度は、輝生会の他拠点においても同様の活動を検討したいと思っております。引き続き、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

<http://www.hatsudai-reha.or.jp/outline/facilities.html>

文責：初台リハビリテーション病院 院長 菅原英和

